

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三
 (コード番号 4820 東証 第二部)
 問 合 せ 先 執行役員管理部長 宮城 孝誓
 (T E L 06 - 6397 - 1888)

業績予想（連結・単体）の修正について

平成 16 年 9 月 30 日の中間業績予想の修正を行いました。通期業績予想数値につきましては、平成 16 年 11 月 18 日の中間決算発表時にお知らせすることといたしておりました。熟慮し、平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期 連結業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	8,906	952	463
今回修正予想（B）	7,680	500	293
増減額（B - A）	1,226	452	169
増減率（％）	13.8％	47.5％	36.7％
（ご参考） 前期（平成 16 年 3 月期）実績	7,827	650	324

2. 平成 17 年 3 月期 単体業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	7,096	871	418
今回修正予想（B）	5,860	426	242
増減額（B - A）	1,235	444	176
増減率（％）	17.4％	51.0％	42.1％
（ご参考） 前期（平成 16 年 3 月期）実績	6,218	602	297

3. 修正理由

上半期において「Receipty」プログラムに調整の必要が生じたことから、ユーザーの買い控えにより売上高が減少、通期の業績に影響することとなりました。経常利益並びに当期純利益につきましても、販売費及び一般管理費の効率的運用を鋭意推進してまいりますが、売上高減少の影響により、当初予想を下回る見込みとなります。下半期からは、「Receipty」の機能の調整が完了するとともに、新製品の投入効果や業務提携による効果等が見込まれ、上半期の落ち込みを下半期で回復すべく販売促進してまいります。

今回の単体決算の業績予想の修正に伴い、連結決算の業績予想も修正いたします。

また、1株当たりの配当予想につきましては、現時点で修正の予定はありません。

（注）本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上